

主な内容

新会長就任挨拶	会 長 木原正義	… (1)
新役員紹介		… (2)
平成30年度 通常総会・懇親会 報告	副会長 新井雅 安	… (3)
総会特別講演会報告	副会長 谷田貝茂雄	… (4)
寄付金納入者一覧		… (4)
獨協・祖父 天野貞祐の思い出	昭和43年卒 安川ひろし	… (5)
獨協祭参加報告	幹事長 沖山秀司	… (6)
ドイツカイザースラウテルン柔道クラブ訪問報告	柔道部顧問・昭和49年卒 萩野元祐	… (10)
クラス会・OB会 愉快だより		… (11)
平成31年クラス会開催予定のお知らせ		… (15)
学園トピックス「HOTAL」オクトーバーフェスタ出席		… (16)
私の近況		… (16)
92号へのご投稿をお待ちしています		… (19)
物故者名簿		… (19)
協賛広告募集のご案内		… (20)
クラス会・OB会等補助金のお知らせ		… (20)
同窓会運営に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。		… (20)

<http://www.dokkyo-mejiro.com>

獨協同窓会

検索



題字・天野貞祐

第91号

平成30年12月15日発行

発行所 〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1

TEL / FAX 03 (3946) 6352 (直通)

獨協同窓会 発行責任者 木原正義

新会長就任挨拶

会 長 木原正義 (昭和47年卒)

本年6月に開催されました平成30年度獨協同窓会総会において、第10代会長に選任されました木原正義でございます。135年余の歴史を持つ獨協学園において中学・高校の同窓会会長を拝命し光栄至極であるとともに、その重責に負けぬよう一生懸命努力する所存でございます。

私は獨協同窓会でおおよそ10年前から幹事を務め、浅野前会長の下では幹事長として獨協同窓会の発展のために活動してまいりました。そして今回一緒に汗をかいてきた仲間を中心に新執行部を立ち上げ、新たなスタートをきることになりました。

私は昭和47年(1972年)に本校を卒業し、その後獨協医科大学に進みました。現在は大田区にて、きはら整形外科を開業し、地域住民の健康と地区医師会の発展のために微力ながら尽力しております。

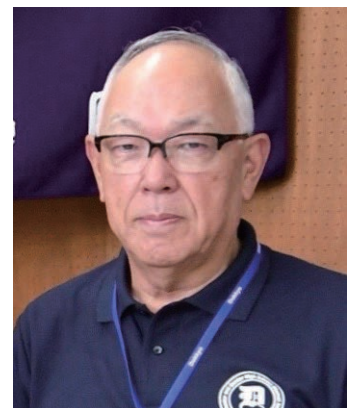
平成16年には私の息子も獨協中学に入学し、当時私が獨協医科大学時代にお世話になりました元生物学教授の永井伸一先生が校長をされており、「PTAを手伝ってもらえますか」と言われ、軽い気持ちで承諾してしまいました。その結果息子の在学中の6年間、この内4年間はPTA会長を務める羽目になってしまいました。そしてやっと息子が卒業し、会長の任が終

了してホッとした間もなく今度は同窓会、後援会に駆り出されてしまいました。これで獨協中・高校の支援3団体(同窓会、後援会、PTA)のすべてに関わり、さらに獨協学園の理事にも推挙され、自分の意思とは関係なしに獨協グループに

どっぷりとはまり込んでしまいました。

私が獨協高校に入学したのは昭和44年で、当時の校長は天野貞祐先生でした。翌昭和45年3月まで校長を務められ、最後の1年間を直にご指導いただきましたが、朝礼の際に頂きました訓示と凛としたお姿は今も脳裏に鮮明に残っております。学生生活では学友会に参加し、文化祭や体育祭の企画、運営したことが大きな思い出として残っておりますが、これが現在担っている獨協における役職の原点となっていると思われます。

学校を取り巻く環境が時代とともに変化してゆく中



で、天野貞祐先生の教育理念は脈々と堅持され、さらに永井伸一前校長の教育理念である「当たり前のことを当たり前にやる」、そして渡辺和雄現校長は「自己実現」と「社会貢献」という点を強調されて指導にあたっておられます。私たち同窓生に宿る獨協魂は今の生徒たちに受け継がれております。

さて、同窓会では浅野前会長の下で様々な改革を行ってきましたが、これから新執行部が取り組む課題として、まず第1に財政の健全化の継続です。同窓会の資産が年々減少していく中、獨協学園創立130周年記念事業の一環として「奨学金」制度の充実を図るべく母校より1000万円の寄付金協力要請がありました。これに対し同窓会会計の見直しを行い、支出の削減を行うとともに、「財務拡充寄付」をスタートし、多くの同窓生より賛同のご寄付をいただきました。これにより6年間でおよそ1500万円の資産を増やすことができました。今後も「財務拡充寄付」を継続するとともに、新たに会計健全化を図るべく「会計部委員会」を立ち上げ、役員全員が委員となって財政の健全化、さらには安定化に向け協議してまいります。

第2の課題として同窓会組織の再編です。各種委員会の意見を総務委員会に集約し、決定案を常任幹事会上げ、幹事会で決議するシステムが機能するようになりました。適材適所に経験者を配置し、特定の個人に仕事が集約しないよう考慮した人選となりました。

第3の課題は同窓会の可視化(見える化)です。ホームページのリニューアルを行い、スピーディーに情報提供できるよう努めてまいります。また文化祭への参加、各種講演会開催、ドクターズクラブを始めとする

同職種の集まりへの参加支援、同窓生の経営するお店の紹介、各学年の同期会等に積極的に参加して、同窓会の広報、見える化を促進してまいります。

独協通信は年々掲載内容が増し、ページ数も多くなってきました。会員の情報交換の場としてだけでなく、さらに充実した内容をお届けできるよう検討してまいります。近年コンピューターの普及により紙ベースではなく電子媒体による読者が増加していることもあり、希望者には独協通信もホームページを利用した電子媒体での閲覧のみに切り替えていくことが検討されています。

同窓会の財産である会員情報やこれまでに蓄積された情報、資料等は同窓会室に保管されていますが、電子媒体で残せるものを整理し、後世にわかりやすいように区分け、保存すべくシステムの構築を行います。

最後に、同窓会の運営は入学時と卒業後に徴収する同窓会費でほとんど賄われております(20ページ円グラフ参照)。残念ながら年々同窓会費の納入率が低下していますが、この原因として比較的若い年代が経済的な理由から納入しないことと、高齢者人口増加に伴い会費免除者が増えてきたことが考えられます。これらの問題を解決していくには同窓会が魅力ある存在になり、会員の皆様に一層認知されなければなりません。来年は新天皇が即位され新元号がスタートする記念すべき年を迎えます。新役員一同力を合わせ、同窓会のため、そして獨協学園発展のために精一杯努力する所存です。これからも皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

新役員紹介

会 長	木原 正義 (S47 卒)
副 会 長	新井 雅安 (S46 卒)
〃	谷田貝茂雄 (S51 卒)
幹 事 長	沖山 秀司 (S49 卒)
副幹事長	谷口 有三 (S53 卒)
総務委員長	五十嵐 整 (S48 卒)
副委員長	小 柳 嘉一 (S48 卒)
〃	野村 芳樹 (S54 卒)
会計委員長	坂下真一郎 (S46 卒)
広報委員長	佐藤 眞人 (S47 卒)
副委員長	柳 沢 潔 (S49 卒)
顧 問	竹内 文生 (S46 卒)
監 事	柳原 克忠 (S39 卒)
〃	浅野 一 (S42 卒)
事務局長	木田 宏海 (S46 卒)



平成30年度 通常総会・懇親会 報告

副会長 新井 雅 安 (昭和46年卒)

通常総会

平成 30 年度通常総会は、6 月 16 日（土）午後 4 時 30 分から母校小講堂で開催され約 50 名の会員が参加された。① 司会を務める木原幹事長より開会の挨拶後、恒例に従い学校側より今年度の優秀生徒 5 名が紹介され、浅野会長から記念品が贈られた。次に来賓の渡辺校長、松本副校長、坂東教頭、大和事務長の紹介があり、渡辺校長より挨拶を頂いた。

また、渡辺校長に例年通り図書費として 20 万円が浅野会長より贈呈された。引き続き、平成 29 年度中にご逝去された会員に対して、ご冥福を祈り、黙祷が捧げられた。

議事の進行は議長を務める浅野会長の挨拶で開始された。最初に議事録署名人 2 名（沖山氏、谷田貝氏）を推薦し、承認を得、平成 30 年独協通信 90 号に記載された議案書通りに進行した。第 1 号議案：平成 29 年度事業報告、第 2 号議案：平成 29 年度収支決算報告が議案書をもとに説明があり、続いて中村監事より会計監査報告があった。第 1 号議案、第 2 号議案は一括して審議を行い、承認された。今年度は会長及び監事の任期満了につき、第 3 号議案：会長及び監

事選出の件が、浅野会長より説明があった。

新会長として木原正義氏、新監事として浅野氏、柳原氏の推薦があり、承認された。次に第 4 号議案：副会長及び幹事長承認の件として、木原新会長より新副会長新井氏、谷田貝氏、幹事長沖山氏の指名があり、承認された。続いて第 5 号議案：平成 30 年度事業計画、第 6 号議案：平成 30 年度収支予算案の説明があり、承認され、閉会に至った。

懇親会

総会終了後、懇親会が午後 6 時 30 分より椿山荘ギャラキシーの間で開催され、新会員、母校教職員など約 160 名が出席、木原新会長の挨拶、② 来賓の渡辺校長より同窓会への謝辞の後、前会長浅野氏の乾杯発声で宴会が開始された。昨年に続いて母校吹奏楽部の演奏、③ 今年度卒業された新会員の紹介、④ その後、世界的チェリスト管野博文氏（S38 年・中卒）のチェロ演奏と里村淳氏（S41 年卒）のピアノ伴奏で会が盛り上がった。年に 1 回の会員、ご来賓、先生方との楽しい時間も校歌の斉唱を最後にお開きとなった。



総会特別講演会報告

副会長 谷田貝 茂雄（昭和51年卒）

胃がんとピロリ菌感染症

日本医科大学 消化器内科学 教授
日本医大 武蔵小杉病院消化器内科 部長
二 神 生 爾（昭和59年卒）

同窓会総会の講演会では、昭和59年卒業で、日本医科大学 消化器内科学 教授、日本医大 武蔵小杉病院消化器内科 部長の二神生爾さんに、「胃がんとピロリ菌感染症」についてわかりやすく講演していただきました。

H. pyloriはグラム陰性桿菌であり、世界最大の感染症といわれています。H. pylori除菌治療が定着してきたことやH. pylori感染症の低下により、胃酸分泌の増加が認められており、このため、現在では、内視鏡検査では異常を認めないものの、胃痛や胃もたれなどの消化器症状を訴える、機能性消化管障害である「機能性ディスペプシア (Functional dyspepsia: FD)」や非びらん性の「胃食道逆流症 (Nonerosive gastroesophageal reflux diseases: NERD)」という病気が増加してきています。H. pyloriと胃癌の厳密な意味での詳細な因果

関係は未だ不明ではあるものの、H. pylori陽性胃炎に対して盛んに除菌治療が進められてきました。近年、新たなPPI製剤であるボノプラザンが登場し、H. pylori除菌治療の成功率は96%まで再上昇しています。このため、酸関連疾患に対する治療のパラダイムシフトもおきている。今回は、これらの内容について二神さんから興味深いお話を聞くことができました。今後の御活躍に期待いたします。



講演中の二神先生

寄付金納入者一覧（「90号」以降）

（敬称略）

小澤 武彦（昭和14）	西部 曠介（昭和34）	木田 宏海（昭和46）	吉松 栄彦（昭和59）
竹内 正和（昭和18）	里見 治（昭和35）	上田 善彦（昭和47）	塩島 功一郎（昭和59）
鹿島 正安（昭和20）	益井 邦夫（昭和37）	伊藤 公一（昭和50）	本橋 克利（昭和62）
神山 一郎（昭和20）	新城 俊男（昭和38）	神足 吉明（昭和50）	矢野 剛司（昭和62）
玉川 健二郎（昭和20）	金井 謙次（昭和38）	斎藤 勝一（昭和50）	梶田 利文（昭和64）
大場 莊介（昭和23）	柳原 克忠（昭和39）	江島 広人（昭和52）	白木原 健（平成01）
本田 光芳（昭和25）	岸 英明（昭和40）	伊藤 英一（昭和52）	浜本 良一（平成04）
鈴木 久雄（昭和28）	久保田 和博（昭和41）	都築 基（昭和53）	玉井 道寧（平成04）
桑嶋 陽一（昭和29）	里村 淳（昭和41）	小倉 弘章（昭和53）	森 量裕（平成07）
小池 達郎（昭和30）	浅野 一（昭和42）	日吉 康長（昭和53）	国松 常芳（平成10）
大塚 三郎（昭和31）	宮崎 輝雄（昭和42）	野村 芳樹（昭和54）	神尾 友杉（平成26）
山岸 敦郎（昭和32）	三宅 博（昭和43）	田中 良（昭和54）	H28年卒獨協生の 成人を祝う会（平成28）
鈴木 武大（昭和32）	橋本 龍二（昭和45）	高田 正道（昭和55）	森 弘帆（平成28）
吉本 明康（昭和34）	西原 潔（昭和46）	菅谷 敦人（昭和58）	

ご協力ありがとうございました。今後とも会費納入および財務拡充のご寄付をよろしくお願い申し上げます。

獨協、祖父 天野貞祐の思い出

安 川 ひろし (昭和43年卒)

僕は1968年獨協高校卒業です。

その後、獨協大学経済学部に進学し、その間自動車レースに参加したり、北米、アジア、欧州を視察して、1972年3月に卒業し、4月にブリヂストンに入社。1976～2010迄モータースポーツを担当、現在はスペインを本拠地とするドルナスポーツの会長顧問でモナコ在住。

獨協高校に入る前は、東京学芸大学の附属小学校、中学校に在籍していました。しかし、学校の勉強方法や生活に馴染まず、中学生の時にこの先はもっと自分のやりたい事を自分自身で見つけ、実践していきたいと強く思いました。その頃自転車競技に憧れ、自転車競技が出来る学校に進学したいと強く思い、獨協高校に進学しました。

それまでは、消極的だった自分が、獨協の校風で途端に変わりました。その大きな要因は、同期の友人、先輩たちや後輩、そして生徒の目線で考え個人を尊重してくれる先生方に恵まれたからです。特に、入学前は自転車がいくら得意でも、大きなイベントに直ぐに参加出来るとは思っていませんでした。でも、阿出川先生や吉田先生、大先輩の高村さん、平岡徳さん、同期の姚くん、後輩の小原くん、吉岡くん達のお陰で、関東選手権、インターハイ等様々なレース経験を積む事が出来、その後の生き方に大きな影響を与えてくれました。

この時学んだのは、「チームワークの大切さ」「思いやり」が「全てを強くする」という事です。この経験は、社会人になって素晴らしいぼくの強みになり、仕事に反映できました。その後、獨協大学を卒業しブリヂストンに入社しました。

通常の日本の社会人は、ローテーションがありあちこちの職場を転々としませんが、ぼくは、モータースポーツビジネスに特化した仕事を継続して行い、現在もモータースポーツビジネスをしています。ブリヂストンは、当時から日本では有名な会社でしたが、海外では殆んど知名度のない会社でした。そこで、技術陣と組んでモータースポーツをマーケティングに活用して世界的に有名な会社に成長させた大きな要因を作りました。

ぼくが、継続してモータースポーツを担当出来たのは、経営陣の度量の大きさのお陰で、とても感謝しています。併せて、自分が何をしたいか、何が出来るかを自分から明確にして仕事に取り組む事が出来たからです。一人で出来る事は限度があるので、良いチームワークが重要で、その時頼りになるのは信頼できる友人関係です。この様な事の基礎を、獨協高校時代に学んだと実感しています。獨協の校風は自由で学生を人として扱い、個人を尊重してくれ

ました。今でも、獨協学園の友人とお付き合いがあり、とても素晴らしい人生です。

今の日本社会は、世界から見ますととても難しい局面にいると思います。もっと多くの人が若い時から海外生活を体験する事が重要だと思います。自分が何をしたいのか、自分が出来る事は何かを明確にして夢を持って自由に生きる事が重要です。

この事を獨協学園では教えてくれ、ぼくの人生に大きく役に立っています。

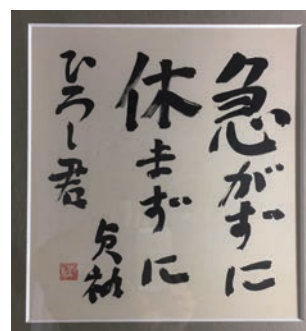
ご参考に、祖父に言われた事を書き添えておきます。

1. 「好きな事を自由にやりなさい。」と良く言われました。
2. 「ただし、自由の意味は勝手にやる事とは違う。」と何度となく言われました。
3. 祖父の体験談として、良く聞いたのは、「お爺ちゃんは野球が好きだったが、病気で学校を4年間遅れた。でも、自分の目標を見つけてコツコツとやってきた。」この意味は、祖父からあまりにも学業の出来の悪い孫(私)に対する親愛を込めた言葉と今になり実感します。この事を、ぼくが忘れないように「急がずに、休まずに」と書いてくれたのでしょうか。

今になって思い出しますと、祖父は本当に多くの事をぼくの立場になって考え、話してくれた偉大な祖父、天野貞祐です。



撮影：高木大介氏（S49年卒）



安川氏（天野先生の右側）所蔵

9/22・23 獨協祭 参加報告

幹事長 沖山 秀 司（昭和49年卒）

獨協祭は9月22日（土）、23日（日）に開催されました。

今年は「恩師の近況」を新たに企画し、懇親会に出席された石井先生、柏葉先生、上林先生、富岡先生、山田先生、吉田先生、をご紹介しました。また、「第三回趣味の逸品展」では2作品を展示しました。

OB会活動報告ではドクターズクラブ、歯科医師獨協会、サッカー部OB会、そして2020年に創部50周年を迎える鉄道研究部の展示がありました。今回の「獨協ぶらり旅」は新富町で創業145年を迎える割烹料理「てつきんろう躍金楼」をご紹介しました。



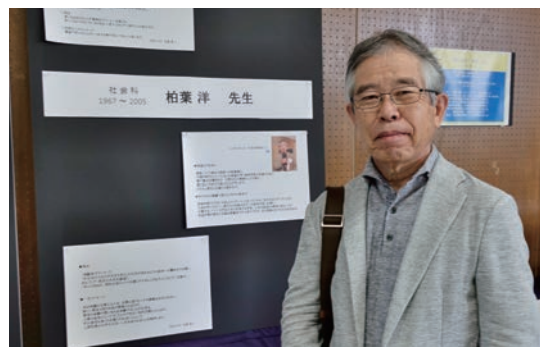
恩師の近況（アイウエオ順、在職期間）

詳細はホームページをご覧ください（インタビュー内容やご寄稿文など）。

国 語 石井 征次 先生（1966～1980）



社 会 柏葉 洋 先生（1967～2005）



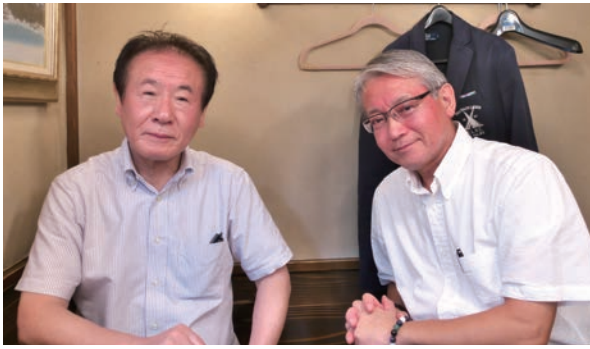
音 楽 上林 英雄 先生（1955～1995）



英 語 富岡 卓 先生（1968～2007）



国 語 山田 直巳 先生 (1970～1980)



保健体育 吉田 卓司 先生 (1961～1973)



第三回 私の趣味・逸品展

■ ロールスロイス

昭和39年卒 二木 昇 平



1972年 慈恵大を卒業し、大学院に行く3月頃、試験勉強で忙しかったが終わったとたん、暇で時間をもてあましていました。たまたま近くの模型店で材料を購入しました。試験勉強の集中力が持続し、1日16時間かけ、2週間で完成しました。これがきっかけで、その後も模型づくりが趣味となりました。



■ 水彩画

昭和39年卒 渡 邊 光 幸



私は毎年、年賀状に桜風景を絵にしています。毎年、桜を求めて旅に出ます。しかし、日程の関係で開花が早かったり終わっているとガッカリです。昔は、現場で軽くスケッチして、写真を撮って、年賀状は一枚ずつ描いていましたが、今は枚数も多くなったため、賀状は写真屋に作成してもらっています。桜の絵は、山形県酒田市の日和山公園です。機関車の絵は、東武動物公園の列車です。埼玉県薬剤師会の会報の表紙になりました。獨協の先輩、小泉さんに頼まれて毎月、埼玉県を題材にして2年間描きました。

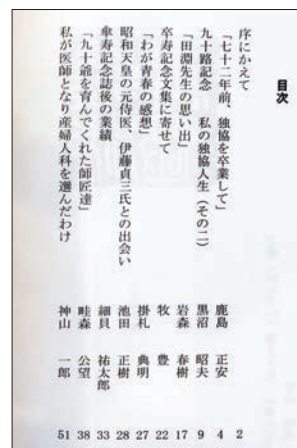
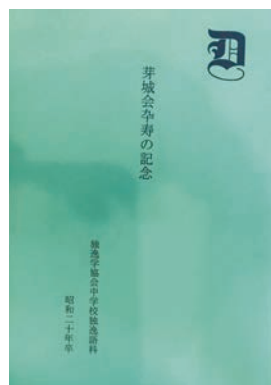


図書寄贈

昭和20年(独5)卒

黒沼 昭夫

同級生の「芽城会文集 第3号」とご活躍された中外製薬社友会報を同窓会蔵書として、寄贈頂きました。



黒沼氏(左)と木原会長

記念写真 撮影サービス

今回初めての試みとして、来場者の写真撮影を行いました。同窓会旗をバックに撮影し、インクジェットプリンターにて2Lサイズにプリントしてご提供させて頂きました。(撮影後、約5分間)

大好評で、22日＝40枚、23日＝60枚をプリントしてご提供しました。



今年もご来校された昭和20年(5年制)卒の神山さん・黒沼さん

同窓会グッズなどの紹介

詳しくは、同窓会事務局へお問い合わせください。

ポロシャツ
ピンバッチ
カフスボタン



<野球部応援グッズ>

昭和54年卒 野村芳樹さんが作成しました。同窓会にて頒布。
在庫がございますので、ご希望の方は同窓会事務局までお問い合わせください。



キャップ (メッシュ仕立てフリーサイズ)
Tシャツ (Lサイズのみ)



OB会活動報告



獨協ぶらり旅 (同窓生のお店紹介シリーズ)

副幹事長 谷口有三 (昭和 53 年卒)

中央区新富町で創業 145 年の老舗割烹
てっ きん ろう
「**躍金楼**」さんをご紹介します。

西に銀座、北に八丁堀、南に築地が位置する中央区新富。場所柄、裏通りでもビル群の中に残された柳の木と風情ある木造家屋の料亭。創業は明治 6 年、この地で 145 年、母校より歴史がある。昭和 24 年に建てられた現在の店舗は今年、有形文化財登録された。

カウンター越しに天ぷらを揚げる 5 代目店主 潤岡寛晃さんのお店を谷田貝副会長とぶらり旅した。

平成 2 年卒業で中高等学校と獨協生である。

老舗の跡取りがなぜ獨協に入ることになったか女将さんを務めるお母様に伺うと、獨協生は何しろ人柄がいい！先輩後輩の関係性が良いとのことだ。本人も、今もなお独協での繋がりを嬉しそうに語っていた。蛸名校長、主管は米澤先生。また、富岡先生、音海先生、音在先生が忘れえぬ先生となっているとのこと。取材陣一同お料理を頂きながらカウンター越しのインタビューであったが、手を休めることなく控え目な口調で日本酒の楽しみ方や、江戸、明治のこの街の文化までエスプリを交えてのお話が飛び出す。



やはり、伝統と客層から高いレベルのトーク力が求められるのだろう。獨協大経済学部卒業後、京都西陣で修行を積み東京有明の加賀屋で接客に、揚げたての天ぷらは旨いに決まっているがサクサク感、そして飲み干したいおつゆにすっかり虜になってしまった。

〒 104-0041 東京都中央区新富 1-10-4

電話 03 (3553) 0365

営業時間 11:30 ~ 13:30 17:00 ~ 21:00



店主 潤岡さん



谷田貝副会長(左から四人目)と谷口副幹事長(右端)

目 白 だ よ り

ドイツ連邦共和国

「カイザースラウテルン柔道クラブ創設30周年の会」訪問報告

平成30年7月29日(日)～8月6日(月)

柔道部顧問 萩 野 元 祐 (昭和49年卒)

ドイツ、カイザースラウテルン柔道クラブから創設30周年ということでご招待を受け、7月29日(日)～8月6日(月)まで柔道部員2名を引率し訪問しました。2013年の文京区長を団長とした文京区姉妹都市交流(萩野が柔道の講習を行いました。)に続き二度目の訪問です。

ドイツ連邦共和国のカイザースラウテルン市は、ラインラント＝プファルツ州に位置し、フランクフルトから南西へ約100キロメートルの距離にあります。旧市街地は中世の面影を色濃く残す、落ち着きある都市です。

今回も講習の依頼を受け、3日間、午前が立技、午後は寝技と各2時間行いました。講習にはカイザースラウテルン柔道クラブのみでなく、いくつかの周辺クラブからの参加もありました。下は7歳から大学生までの年齢層が対象です。ド



イツはヨーロッパでもフランスと並び柔道が盛んで、レベルも高い国。それを踏まえたうえで、基本からハイレベルまでの技術解説に努めました。皆さん熱心で、通訳をしてくださった古畑祥子さん(欧州で活躍されるトップクラスのピアニスト)は「皆さん目を輝かせて講習を受けていた」と感想を述べていらっしゃいました。2日目にはカイザーの体育学校の先生も受講され、一緒に反復練習していました。来年、体育学校での講習依頼の話もいただきました。最終日、近くの村から来た、将来オリンピック出場を目標にしている15歳の少年からは「もっとやって欲しかった」という感想を、道場の先生を通じて耳にしました。

微力ながらも役割を果たせたと嬉しく思う瞬間でもありました。

今後、獨協中学・高等学校として、そして柔道部としても交流を続けていくことを切に願っております。

同窓生の皆様もドイツ、フランクフルトに行かれることがありましたら、ぜひ列車(マンハイム駅乗り換え)でカイザーまで足をのびさせてみてください。1時間20分ほどの距離です。また、カイザーからは列車で日帰りで行けるハンバツハ城など古城、廃城めぐりもできます。また白ワインの名産地で、ワイナリーも多くあります。自然豊かな落ち着きあるカイザースラウテルン、ぜひ訪問してみてください。



昭和20年 独5卒 芽城会

卒後73年を迎え、級友たちは皆90歳になった。平成30年5月20日新宿小田急13階「さがみ」で芽城会を開いたが、集まったのは卒業時150人いた者の1/30の5人になってしまった。しかしこの日集まった者たちは、皆元気にはるか昔の学校での出来事を思い出して歓談し、時間を経つのも忘れていた。当日の出席は、鹿島・黒沼・畦森・池田・神山の5名であった。いつも元気に出てくれた牧君が1ヵ月前突然の発病で入院。会の2日前に退院はしたが病み上がりで欠席になったのは残念であった。(記：神山一郎)



昭和27年卒 花の27会

猛暑のきびしい今年も例年通り飯田橋のトリノで9月15日に「花の二七会」を開催しました。我々も85才と高齢になり出欠の返信に家族の代筆や腰痛治療等の体調不良による欠席が多く10/27と10名の出席で会を催しました。

出席者の中には未だ現役で仕事をしている者もあり、又旅行・ゴルフ等元気に頑張っている者もいます。2時間半の予定時間の中で昔の学生時代の話や現在の話や今後の生き方等3分間スピーチを交えて楽しく会を過ごす事が出来ました。来期の幹事を決め、手締めをして閉会としました。(記：朝比奈)



昭和39年卒 39会同期会

昭和20年生まれの39(サンキュー)会メンバーの同期会は今年10回目を迎え、5月18日(金)に昨年同

様、目白駅前のTRADビル4階のリュドヴィンテージ目白で開催。「獨協」の旗の下、平日にも拘わらず約40名が集い、消えてゆく記憶と鮮明な思い出のせめぎ合いで、賑やかに「昭和30年代の獨協」を語り合い、どうしようもない過去に、そして獨協に感謝しつつ楽しいひと時を共有した。恩師の本田稔祐先生、吉田卓司先生にもご参加いただき、心温まる励ましのスピーチに今更ながらに師の恩を感得。今後のご健勝を願うばかりである。今回のエンターテインメントはピアノ中心のモダンジャズのカルテットで、「フライミイトゥザムーン」や「テイクファイブ」などの名曲を懐かしく、手拍子やら掛け声やらでプレイヤーの演奏もノリノリで会場は大盛り上がりであった。同窓会からは39会幹事で副会長の柳原が出席し、最後の進行役を務めた。次回は2019年5月19日(日)、13時～ 会場は半蔵門駅下車2分、ダイヤモンドホテル1階 レストラン「プルメリア」で決まり、散会。(記：柳原克忠)



昭和40年卒 同期会

平成30年2月24日(土)椿山荘にて開催。参加者は、(2組)岸英明・松井明照・水谷匡洋・吉川秀昌、(3組)大澤眞輔、(5組)茂村幹彦・三浦孝夫、(6組)大坪嘉春・長坂利一の9名。卒業後53年ぶりに会う者もあり、始めの内は変なオッサンの集りのような違和感を持ちましたが、しばらく話をしている内に当時の顔が浮かんで来て間違いなく同級生との実感がわいて来て、和やかな雰囲気になりました。それぞれ隣同士で当時の話に花が咲き盛り上がったところで、あっという間にお開きの時間が来てしまいました。今回は岸と水谷が世話人になり、慣れない役目ではありましたが、もう少し手順よく全体として纏まった集りにすべ



きだった、と反省しきりです。

この会の為に色々なルートで参加者を募りましたが、仕事の都合等で已むなく参加出来ない数名を除き、多くの同期生に連絡がとれないことが分かり、卒業が遠い昔の出来事だったと実感しました。次回は、より多くの同期生が参加できるよう呼びかけ進行係も決め、満足の行く集りにしますので、再度の参加を宜しくお願いします。自宅 TEL・FAX 048-663-2733 080-2036-6912 (記：岸英明)

昭和 41 年卒 古川 38 会 古希の会

2018 年度古川 38 会は 8 月 26 日(日)の猛暑の中、昨年に続き椿山荘で開催した。昨年は過去最多数の 29 名の出席であったが、今年は息切れしたか、16 名と過去最低数であった。欠席数の多い理由は一つに昨年が古希祝いであったこと、二つはかなり病気が原因であったことが挙げられる。とにかく健康寿命を言われる中、やはり 70 歳を超えると、寄る年波には勝てず、かなりの人数が病気に奪われた。しかしながら人数が少ない中でもやはりそこは団結力のある 4 組。会の盛り上りは例年に比べても凄まじいものがあり、二次会を含めた 4 時間はあっという間に過ぎ去った。その後、暮なじむ目白に向かい三次会へと歩む 71 歳達であった。(記：遠藤和男)



昭和 41 年卒 古希を過ぎてのクラス会

古希の去年は学年同期会が開催されましたので、クラス会として私たちは 2 年ぶりに、平成 30 年 9 月 15 日、高輪和彊(わきょう)館へ集まりました。

私たちは昭和 35 年獨協中学へ入学、主管は神田直人先生でした。入学以来 60 年が過ぎようとしています。今年私たちは 71 歳になります。参集したのは 70 歳を超えてのクラス会で、大関・北岡・小杉・里村・篠田・菅谷・中村・福島・森田、各位と奥田の 10 名。

高輪和彊館は周囲のモノ音がまったく聞こえない静かなところ。部屋はひろびろとしてゆったり話ができます。前回使ってみて評判が良かったので、今回もここにしました。

10 人なので盛り上がりませんでしたらどうしようと、

ちょっと心配でした。でもひとりずつの近況報告をお願いすると、全員が発表者の話に耳を傾け始めました。そして 70 歳を過ぎ、いまとっては本人しか知る由もない 60 年前のエピソードがどんどん出てきました。

皆はそれぞれのエピソードに耳を傾け、そんなことがあったのかと笑ったり驚いたり感心したり。・・・これは偉大なるマンネリだ、こういうマンネリは 70 歳を過ぎてますますいいなあ、としみじみ思いました。(記：奥田 博)



昭和 42 年卒 第 18 回 ミニクラス会

平成 30 年 7 月 7 日(土)に開催しました。

場所：有楽町：中華料理 慶楽

毎回幹事は平岡君がインターネットと電話で連絡をして昭和 35 年中学入学時 2 組を中心に 1 組の一部のメンバーで 1 月と 7 月に開催しております。

今回の参加者は、上原君・加藤君・島田君・石田君・平野君・喜多君・白水君・加藤君・巢瀬君・立野君・山口君・平岡君の 12 名と 1 組から菅谷君と中村の 14 名です。夏の会の投稿ははじめてですが、冬の会で参加できる人今回のように夏なら参加できる人がいるので平岡君は続けていきますと今後の会の将来を語ってくれました。

立野君の提案で各自の現況を語り、その都度学生時代の思い出に馳せていました。加藤君が先に帰るとのこと、11 月に恩師栗原幹夫先生の 17 回忌を鶴見で行うので、参加される人は加藤君に連絡して下さいとのことでした。

話が尽きないようでしたが、解散時間となり各自 2 次会組と帰り組とに分かれ再会を約束して閉会しました。また 1 月の会で会いましょう。(記：中村)



昭和 42 年卒 O B 会

6月26日(火)、今年2回目のOB会を市ヶ谷の中華 Rai (ライ) にて行ないました。

本会は還暦及び古希同窓会の幹事を中心に独語・英語クラス有志が年4、5回程度集まっているもので、米国より一時帰国中の竹中庭次君を含め計22名が出席しました。

初めに獨協同窓会長を2期6年務めた浅野一君より会長退任の報告があり、また獨協大学同窓会長である須藤明弘君より近況報告がありました。

次いでドイツ語クラスで今回初参加となった濱中廣健君より生物部時代の思い出、また小林国雄君からは学生時代憧れのブランド、VANにクラスメイトの山藤幹男君と現在携わっている旨の話がありました。

続いて獨協OBの活躍例として、浅野君よりNHK・おは Biz 豊永博隆解説委員、また本山徳裕君よりこの度3選を果たした田中良・杉並区長の紹介がありました。久しぶりの再会もあり話は尽きませんでした。最後に校歌を斉唱し解散しました。(記:野澤 正)



昭和 47 年卒 獨語クラス 1 組クラス会

1972年(昭和47年)卒の獨語クラス1組です(主管:佐藤春夫)35名。

この年齢になると、40数年来続けてきた仕事もそろそろ引退する者、2020年に向けて張り切る者、身体の不調を訴える者、孫自慢等々、まだ現役で当直する先生まで幅広く出てきました。仕方がないですね。

かつては場当たりに思い出したように行っていたクラス会が、2013年に還暦クラス会、2015年には獨協中学入学50周年記念クラス会を開催しました。

北は福島から、西は兵庫まで幅広く集まり、以来毎年写真のように目白駅周辺で実施し、**来年は2019年4月20日(土)に目白周辺で予定しています。**この日だけは新幹線で上京できる現役医がいるので。

当初獨語クラス中心でしたが、最近是一部聞き付けた(?)英語クラスの方々も何名か参加いただくようになりました。残念ながらすでに物故者もおられるので、英語クラスの皆様も奮ってご参加下さい。

来年元号が変わりますが1972(昭和47年卒)ですよ!!!

ご希望の方は個人情報保護のため、同窓会事務局経由で出席希望の有無、氏名、クラス主管、メールアドレス等を大石、眞田宛にお送り下さい。一応2018年末までとさせていただきますが、4月開催ですので連絡は来年中でも結構です。事務局から情報が来たら、こちらからご連絡させていただきます。皆さんどうぞよろしくお願いいたします。(幹事:大石博章、眞田毅)



昭和 49 年卒 3組金有一先生 喜寿をお祝いする会

5月19日(土)、原宿南国酒家において金有一先生、喜寿をお祝いする会が行われました。

参加者は16名。喜寿を迎えられた金先生が山登り、蝶々観察などの趣味を楽しまれるお姿は我われ教え子より若々しくご健康そのもの。金先生を囲んでの3時間が短く感じられるほどの楽しい会となりました。次は金先生が「傘寿」、我われは「古希」と皆元気で迎えられるものです。(記:萩野元祐)



昭和 49 年卒 金有一先生3組・小諸クラス会

恒例の小諸「日新寮」でのクラス会が8月18日(土)～19日(日)、1泊2日で行われました。猛暑の東京



を脱出、金有一先生をはじめ8名が参加。メンバーの中には松本見学、池の平湿原散策など寄り道をしてからの到着。林間学校を思わせるかのような1泊2日。メンバー中4人は深夜2時まで歓談。涼しい小諸で楽しい時間を過ごしました。(記：萩野元祐)

昭和49年卒 3年5組 同窓会

平成30年9月22日(土)、「椿山荘」において、主管山田直巳先生をお招きして、卒業後初めての5組同窓会を開催しました。当日は12名が参加しました。個人的な親交や部活動関係などの会合は別として、クラス単位では44年ぶりに一同が会したことになります。髪や体形に変化はあるものの、どこかに昔の面影が残る還暦を過ぎた旧友同士は一瞬で“高校生”に戻りました。近況報告や学生時代を振り返っての思い出話など、時間の経過を感じさせない和やかな楽しい時間を過ごすことができました。現在、成城大学で教鞭をとられる山田先生もお元気で、当時の貴重なエピソードを披露していただきました。最後に校歌を斉唱し記念写真を撮影。次回開催を約して散会となりました。(記：中村隆)



昭和53年卒 獨協ハーフ会

去る9月8日(土)に恒例の獨協ハーフ会(昭和53年獨協高校卒業生有志の会)が『上野 精養軒 3153店』にて開催されましたのでご報告致します。当日は恩師富岡 卓先生を囲み毎度ながら楽しく飲み語りました。一同獨協生に戻り全員二次会までお付き合い戴きました。

来年もまた九月上旬をメドにお声掛け予定です。



同期の皆さん、我らもアラカン 今だに悩み多く(仕事・育児・子育て・親の介護・自身の健康問題など)いろいろな意味で大変な時期であるとは思いますが、人生ハーフもう一踏ん張り頑張りましょう。

(記：西原由恭)

ジーボルト賞受賞の報告会

昨年の独協通信で私のジーボルト賞受賞の報告を載せていただいたことで、今年の1月、英語科の富岡卓先生が、同級生の井手久雄君と私をお食事に招待して下さいました。私はドイツ語科でしたが、高校一年の時に先生に第二外国語の英語を担当していただきました。在学中は図々しくも先生のお宅にお邪魔するなど親しくさせていただいたのですが、卒業後は年賀状でのご挨拶のみで失礼しておりました。それが、今回卒業後30年余りご無沙汰だったにもかかわらず、わざわざ一席設けていただき、大変に感激した次第です。写真をご覧いただければお分かりのように、先生は30年前とほとんどお変わりない様子でした。昨年まで高校で英語の授業を担当されていたそうで、お若いままの理由が分かった気がいたします。昔と変わらぬ穏やかな口ぶりで、言語学の研究からご趣味のオーディオまで、幅広い知的関心についてお話くださった先生から、多大なエネルギーを頂戴した一夜でした。

(記：河崎 健)



バスケットボール部OB会

9月8日(土)17時より池袋YRイベントホールにて、「獨協中学・高等学校バスケットボール部OB会」の記念すべき第一回の総会・懇親会が開催された。多

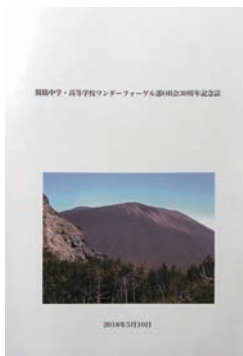


数のOB、顧問の志村先生・平先生にも参加して頂き、OB会のスタートとしてこれ以上ないものになった。OB会設立の趣旨や目的、具体的な活動内容の詳細は、URL: <https://dokkyo-basketball-obclub.jimdofree.com> を参照して頂ければと思う。

この会がきっかけとなり、旧交を温めることはもちろん、様々な年齢や立場のOB、そして現役生との交流を生み出す場となり、各人の人生をより豊かにすることに寄与することとなれば役員として望外の喜びである。(役員一同) (記：吉川)

ワンダーフォーゲル部OB会

本学ワンダーフォーゲル部は1955年に高校で組織創設され、今年で創立63年になります。夏の北アルプス縦走、東北の朝日連峰や飯豊連峰の縦走、八幡平や岩手山、厳冬期には高妻山や浅間山、八ヶ岳など四季を通していろいろな山に登ってきました。OB会は初夏の総会と秋の親睦会をはじめ有志による月例山行やスキーなどいろいろな活動に取り組み、今年32年目を迎えています。近年参加会員の高齢化が進み、先達の方々の記憶や記録が薄れゆく状況にあることか



獨協中学・高等学校
ワンダーフォーゲル部
OB会30周年記念誌

ら、今までの活動の記録をまとめ残していくことが急務となっていました。すでにOB会のホームページでは部やOB会活動の記録を蓄積整理して会員に提供してきましたが、この度1年をかけて手元に残る形として「30周年記念誌」を作成し、会員に提供しています。問い合わせは下記アドレスまでお願いします。

<http://www.dwvob.sakura.ne.jp/wp>

メールアドレスは dokkyo.wvob@gmail.com

(記：手島)

剣道部OB会 獨協戸隠会

平成29年12月17日、剣道部OB・現役交歓稽古会の日にあわせてOB会を開催いたしました。現役中高生の白熱した紅白試合は紅組が勝利し、その後の生徒とOB一同が竹刀を交えた稽古は壮観でした。稽古の後には校内の教室にて、保護者の方々にご協力いただき、OBと生徒による懇親会も開かれました。引き続き執り行われた目白でのOB懇親会では、去る12月に他界された新井昇会長（S49年卒）への黙祷がささげられ、OB一同心よりご冥福をお祈りいたしました。稽古に足を運んでくださった皆様、平素OB会にお心遣いくださっている皆様、齋藤師範、野村先生、顧問の河野先生、中島先生、心より感謝申し上げます。当日の稽古及びOB会には、日名子（S45年卒）、佐久間（S50年卒）、佐藤・西川・宮本（S59年卒）、山本・渡辺（H19年卒）、宮川（H21年卒）、中野（H22年卒）、清水（H24年卒）、石井・坂本・松延（H25年卒）、秋元（H27年卒）、高橋（H28年卒）、小泉（H29年卒）〔敬称略〕の総勢16名が参加しました。

(記：渡辺基郎)



平成31年 クラス会・同期会開催予定のお知らせ

卒 年	会合名	日 時	場 所	幹 事
● 昭和39年	39会同期会	5月19日(日) 13:00～	ダイヤモンドホテル1階 レストラン「プルメリア」	大塚・加藤・柳原
● 昭和47年	獨語クラス1組クラス会	4月20日(土)	目白駅周辺	大石・眞田

獨協大学同窓会ホテル部会「HOTAL」オクトーバーフェスタ出席

10月6日(土)、赤坂のANA インターコンチネンタルホテル東京で、獨協大学同窓会(会長 須藤明弘、本校昭和42年卒)の業種団体のホテル関係者の集いであるホテル部会「HOTAL」(会長 萩原 崇)のオクトーバーフェスタに獨協同窓会から木原会長の代理として谷田貝茂雄副会長と柳原克忠監事(HOTAL 初

代会長)が出席した。7~80名の会員の内、当日は本校同窓会員を含め約半数が参加し、幅広い情報交換の場として、また、「オール獨協」構想の推進の場として相互に親交を深めての和やかで、華やかで、有意義な交流のひとつを過ごした。来年2月の10周年記念の総会・懇親会も楽しみである。



私の近況

●昨年夏外出の際転倒骨折故に入院全治に3ヶ月を要しました。其の間オーケストラの方は休団、本年1月より復団。秋の定期コンサートの曲目の合奏練習参加して居ります。(第1バイオリン奏者)96才(オーケストラ名:中野区民交響楽団)

＜小澤 武彦(昭14卒)＞

●90才台に入り老化が進み歩行がきつく外出を控えて居ります。同期の友人が殆んど彼岸に旅立ち、専ら孤独をかみしめている昨今です。最近の大学進学先を拝見し、同程度の他校が進学校化し、実績を上げているのを見るにつけ母校も何とかならないのかと気をもんでいます。

＜桜井 保光(昭17卒)＞

●93才になりましたがお蔭様で元気です。現在埼玉県所沢市で娘夫婦の厄介になっています。母校のますます御発展を祈ります。

＜田中 健吾(昭18卒)＞

●昨年19年卒業(53会)も90歳を超えた級友で集まりも数名と減少。幹事役も病に勝てず級会(53会)もそろそろ閉じられそうです。

＜植田 理彦(昭19卒)＞

●小生4月に91才になりました。桜のシーズンの終り頃、上野公園内の国立科学博物館を訪ね「人体」をタイトルに最新の医学研究成果を含め、サブタイトルに「神秘への挑戦」とあるように研究の歴史的資料(アインシュタインの脳がありました)が並べられた展示会を見てきました。人体は神の超絶技工の手になる作品と感じました。世の中100才時代を迎えようとしています。これからも健康に気をつかい有意義に過せますよう願っています。

＜平澤 昭彦(昭20卒)＞

●同級の友人達全てが今年3月で満90歳になった。

しかし現在150名中生存者28名、物故者103名、居所不明の者24名で、平成30年5月のクラス会の出席者は6名にすぎない。足腰が弱って遠出の困難な者、認知症で施設に入った者等が多くなった。集まった6名で100歳に向って頑張ろうとお互い励まし合った。

＜神山 一郎(昭20卒)＞

●私達の学年「芽城会」は九十路記念の文集を出すべく鋭意努力中。

＜黒沼 昭夫(昭20卒)＞

●卒後73年、90才の老医師です。51才の時から手術を癌を含め8回、未だ生きているのが不思議です。妻、息子夫婦、孫達又友人達に助けられていると、午後だけは外来をしています。新しい医学の進歩は甚だしくネットで助けてもらっています。まだ年数回獨協の友人と会食するのが楽しみです。

＜鹿島 正安(昭20卒)＞

●現在脚部不安のため車椅子生活中。

＜黒川(池田) 泰三(昭20卒)＞

●中学時代の通学は風雨・豪雪・炎天を厭わず自宅→都電江戸川橋→関口台急峻坂を登り着くと正門だった。坂の途次フランスパン工場ありてその芳香さは今でも臭覚中枢に残存。母校恩師は皆神様の如き存在だったが、ご多聞にもれず渾名もあった。「タヌキ」「ヤギ」「ウマ」「ガマ」「イノシシ」「イモ」「ダルマ」「コブ」等々……圧倒的に哺乳類が多くやはり先生も神ならぬ人間だと親近感を覚えた。但し時局柄「貧乏少佐」「ヤリクリ中尉」等の配属将校の存在は好感が持てなかった。平和の有難さを実感!!

恩師に妄言深謝。御冥福を祈願

＜武田 亨(昭20卒)＞

●大きな力に生かされて米寿となりました。※ 1930 年（昭和 5 年）3 月 30 日生まれ、2018 年（平成 30 年）3 月 30 日に 88 才になりました。

＜安藤 元久（昭 22 卒）＞

●無職、年金生活

＜大池 茂保（昭 22 卒）＞

●通信有難く拝見しています。同期諸兄の回想はやはり終戦前後に集中していますね。私も当直の夜の火の粉が舞う校庭を思い出します。その後奥田先生は「お前達は自分の家庭をかえりみず学校防衛に当たった」と会うたびにおっしゃっていました。あとでご自分のことも含まれていたのかなと思いました。

＜橋本 徳朗（昭 23 卒）＞

●藤沢山内病院附属藤沢スマート・タウン・クリニックに勤務しております。御盛会を祈念致します。

＜平澤 精一（昭 25 卒）＞

●現在 86 才通算東京 40 年神戸 46 年現在神戸在住。獨協時代の旧友とは文通を続けている。青春時代を共に過ごした旧友は一生の友になる。母校が進学校としての地位を守っていることはこの少子化時代に心強いことである。

＜橘 葵（昭 25 卒）＞

●引越しました。〒277-0062 柏市光ヶ丘団地 3-7-806 電話 04-7199-7234

＜片田 基義（昭 30 卒）＞

●80 歳（傘寿）になり、これからも広く見識を深め国際情勢を知るために、民間シンクタンク「公益財団法人・国家基本問題研究所」に会員登録しました。理事長は有名なジャーナリスト・櫻井よしこ氏です。又、東大教養学部卒業後、獨協高校の教師となった恩師・小島晋治先生を偲ぶ会に出席しました。師は獨協後、東大教養学部教授となり中国研究の第一人者として中国研究所で活躍されました。正に小島先生は我が母校の栄誉であり、誇りです。

＜小川 秀明（昭 32 卒）＞

●特に有りませんです。毎日図書館、体育館等に行っております。毎年同窓会の書類ありがとうございます。

＜森 翼（昭 35 卒）＞

●学校法人北里研究所名誉部長「すい臓がん」治療中。

＜山岸 郭郎（昭 32 卒）＞

●喜寿を迎え生涯現役の積りでがんばっています。心身共に健康ですが仕事は一生やってみたいです。私が改発した矯正法（ボンサイテクニク）を世界に広めたいと思っています。それは今までの矯正法とは異なっているから、例えば「歯を抜かない、ブラケットをつけない（見えない矯正法）アツアライナー、床矯正、成人に適しています。

＜萩原 和彦（昭 35 卒）＞

●毎회のご連絡ありがとうございます。何にもご協力・ご支援できず恐縮いたしております。小生 Dr になれなかったが今オモチャの Dr として頑張ってお子たちの笑顔に生きがいを感じております。“生涯現役”をモットーに 76 才の若者です。

＜堀金 正典（昭 36 卒）＞

●5 月 23 日の新聞夕刊に夏目漱石がロンドン滞在中、友人二人に宛てた葉書 3 枚が福井の古書店で見つかったと報じていた。獨協中学校を作った元教員で国文学者の芳賀宏一、独文学者の藤代禎輔両氏宛である。30 数年前、芳賀氏の著名集（全 7 巻）の編著に関わった時ご子息檀（まゆみ）・定（さだむ）ご兄弟が「本

を編集するので貸して欲しい」というので貸したが、未だに返らない。誰に貸したのやら…」と話しておられた。その一枚らしきものが姿を現した。芳賀氏ゆかりの福井県に引き取られた様だ。葉書に穴が開いていた。ご兄弟の墓前に近々報告に…と思っている。

＜益井 郁夫（昭 37 卒）＞

●昭和 39 年卒の同級生と博物館めぐり、高校時代に住んでいた頃の土地めぐり、居酒屋めぐり等を楽しんでいます。

＜佐藤 忠一（昭 39 卒）＞

●私も 73 才になりました。しかしなんとか現役で仕事しております。同窓生にも何人か物故の方が、さびしいかぎりです。すべての役職をキャンセルしています。

＜池松 武臣（昭 39 卒）＞

●去る 2 月 24 日（土）に椿山荘において、昭和 40 年卒業（ドイツ語クラス以外）の連絡がとれた合計 9 名で同窓会を開きました。（発起人：岸 英明、幹事：水谷匡洋）

＜岸 英明（昭 40 卒）＞

●今回で役員幹事長と、合田先生から拝命し 9 年。浅野会長より監事を拝命し 6 年。合計 15 年同窓会に籍を置いておりましたが、やっと肩の荷をおろすことになりました。同窓会の役員も若返りが出来て、前会長より継承していただいで増々盛り上げていただけることを期待します。

＜中村 昭美（昭 41 卒）＞

●獨協中学・高等学校ワンダーフォーゲル部 O B 会 30 周年記念誌を作りました。

＜岸 房孝（昭 41 卒）＞

●獨協ソフィア会のご案内を前号で掲載させていただきましたが、私のメールアドレスを間違えられて届かない方がいらっしゃいました。改めて、こちらにお願いいたします。

m-teru48@nth.biglobe.ne.jp

＜宮崎 輝雄（昭 42 卒）＞

●平成 30 年 5 月 19 日（土）第 7 回歯科医師獨協会学術講演会を開催いたしました。本年から歯科医師獨協会代表世話人となりました。連携医療を高めるためにも歯科医師獨協会が力を合わせたいと思っております。学術と親睦を大切に推進させて戴きます。

＜池松 武直（昭 42 卒）＞

●現在も実家の日本橋で貸ビル・不動産業を営んで居ります。趣味の小唄カンツォーネを楽しんで居り、月 1 回友人と旅行に出かけて居ります。後何年生きられるか、一日一日を大切に生きております。

＜渡辺 雅博（昭 42 卒）＞

●獨協高校卒業後、本年で丁度 50 年、6 月の同窓会でみんなに会えるのが楽しい気持ちでいっぱいです。各人半生で色々な出来事があったと思われますが、この日だけは昔のままに戻れる時間。みんな頑張ってきた、あとは人生楽しくやろうじゃないか、元気な 69 才として！

＜村上 喜代次（順改め）（昭 43 卒）＞

●老後、妻と宮崎日向市内で喫茶店やっています。日向に来る事あれば必ず寄って下さい。喫茶 絆（ぱお）0982-60-3055 です。今息子がベルリンで勉強しています。自分も 12 年ハンブルグに居ました。

＜日高 憲志（昭 44 卒）＞

●ドイツ・デュッセルドルフに 3 回（丸紅駐在 2 回、デュッセルドルフ日本人学校 1 回）通算 21 年間勤務し、2018 年 5 月定年退職して日本に帰国して来まし

た。 <木田 宏海 (昭 46 卒)>

●獨協高校在学時の担任であられた田代雄一先生の計報を私の近況欄で目にしました。当時を思い出して懐かしさが込み上げてきました。時にコロポコートで授業。足はいつも素足に下駄。先生のヨット姿は拝見したことはありませんでしたが、成績の良くない私をいつも諦めるなど励ましても下さいました。その後の私の人生も紆余曲折でしたが、先生のお陰で今の内科臨床医人生があると思っています。先生のご冥福をお祈りします。

<箕田 進 (昭 47 卒)>

●大学附属病院長を 4 年努め、教授職に戻ったために連絡先が学内ではありますが、変更になりましたのでお願いします。

<松村 明 (昭 48 卒)>

●ネパール王国に小児科医として国際協力に行って 20 年になりました。このとき始めた弓奏弦楽器サーランギを引き続け 20 年になります。インドの弦楽器シタールはビートルズのメンバーがやっていたこともあり奏者は日本にもたくさんいますが、サーランギは日本では 5 人にもならないので寂しい限りです。

<奈良 隆寛 (昭 49 卒)>

●昨年の夏は、米国はワイオミング州キャスパーにて、念願の皆既日食を見ることができました。あとは南半球の国に行き、大小マゼラン星雲、そして一等星のすべてをこの眼で見ておきたい、と考えている。尚、還暦を過ぎ仕事はほどほどにしている。

<松本 兼二 (昭 49 卒)>

●早いもので小田原→東大和に来て 6 年に。近隣の同級生に再会して懐かしい思い出話に花を咲かせております。代わりに趣味の自動車レーズを遠ざかってしまい少し寂しいです。

<斉藤 勝一 (昭 50 卒)>

●親の介護があり、佐久と埼玉を行ったり来たりの生活をしています。自然と長閑さのある信州の生活は魅力ではありますが、車がないと生活できないのが難点です。今、高齢者の運転が社会問題となっておりますが、他人事ではなく、いずれは公共交通機関のみで生活できる環境を考え始めた今日この頃です。

<田中 謙光 (昭 50 卒)>

●在学中お医者さんを目指している同級生に触発されて、将来はお医者さんのお手伝いをしたいと思いました。いろいろと考えて卒業して医療法人専門の行政書士になりました。現在、神保町の三省堂書店の隣のビルで、神保町行政書士事務所を開業して、お医者さんの開業、法人化、診療所の引越しなどのお手伝いをしています。気楽に遊びに来て下さい。

<島田 敏樹 (昭 51 卒)>

●昨年末平成 29 年 12 月 23 日未明に脳内出血で倒れ救急搬送、手術入院しました。リハビリ後、以前の生活に戻りましたが目の症状が回復せずにはいますがほぼ以前と同じ生活ができております。同級生の前田君・伊藤君・蒲田君など急逝した友人たちを思い日頃から同窓会が必要な年かなと思いましたが、入院中に森田君から同窓会の連絡が、呼んだのでしょうかねえ。皆お元気で S 52 年卒は 10 月 20 日同窓会です。

<久志 本明人 (昭 52 卒)>

●獨協高校を卒業し約 40 年地元荒川区で歯科開院し

25 年目です。歯科医師獨協会や獨協ハーフ会などを通して同窓の先生方や同期との懇談が趣味?のようになっています。長男も平成 21 年に獨協高校を卒業し、歯科医師の道を励んでおります。

<西原 由恭 (昭 53 卒)>

●昭和の杜病院も無事に 6 年目を迎え、入院・透析ベッドを増床計画中で多忙な毎日を送っています。常任幹事として同窓会活動にも力を入れて行きたいと思っています。

<野村 芳樹 (昭 54 卒)>

●JR 西八王子駅前の南多摩病院で下肢静脈瘤外来をしております。

<朽方 規喜 (昭 56 卒)>

●2014 年 10 月よりハノイ（ベトナム）の現地法人に転職しました。不動産開発の他、日本への技能実習生、エンジニア、留学生の事前教育を行っています。ベトナムと日本の架け橋になれる様日々頑張っております。

<小川 恭弘 (昭 57 卒)>

●娘が獨協医科大学卒業後、研修を終了し、平田幸一先生の脳神経内科（旧神経内科）に入局しました。

<濱口 眞輔 (昭 58 卒)>

●大田区北馬込でゴルフ練習場を開いております。数年前より乳幼児の右脳教育事業も開始し、地域への貢献に取り組んでいます。

<大竹 章裕 (昭 60 卒)>

●地元駒込で眼科を開業し 11 年になります。息子が獨協中学に入学しお世話になることになりました。父兄として学校に行く事が多くなり、あの楽しかった学生生活が懐かしく思い出されます。親子で獨協生になれて本当に幸せです。

<三井 義久 (昭 63 卒)>

●計画道路の関係で引越しをしました。町も人も変わっていく中で、獨協での思い出は変わらず心に刻まれています。

<浜本 良一 (平 4 卒)>

●入区 21 年目になりました。主査として、区民事務所と区民サービスコーナーに勤務しています。長女は高校受験の年となってしまいました。

<藤島 一郎 (平 7 卒)>

●長女が誠文小学校に上がりました。1 学年 4 クラスと少子化時代には珍しいくらいのにぎやかさです。

<春宮 淳一 (平 7 卒)>

●獨協高校卒業後に神奈川の洗足学園音楽大学で大学院まで学び、その後東京藝術大学大学院にて私の専門分野であるサクソフォンで日本初の博士号を取得しました。現在は北海道教育大学旭川校に勤務し、今年度から准教授に昇進致しました。妻・子と三人で、旭川の寒い土地ですが暖かい家庭を築いております。

<佐藤 淳一 (平 12 卒)>

●2017 年 3 月に漢方メーカーの MR を辞め、4 月から島根大学医学部の 3 年次に編入しました。島根に来て 1 年が経ちました。最近は英語に力を入れており、Guyton, USMLE の first aid などを使って勉強しています。また、native の先生がおおりアメリカ・イギリス英語の両方を学べる環境も整っているので Listening も brush up しています。先日生理学クイズ大会に参加して来ました。阪大、東北大、防衛大、岡山大、台湾大、大阪医大 etc 強敵ぞろいでしたがなんとか 15 チーム中 3 位になることができました。結果が残せ嬉しかったです。

<松本 響平 (平 17 卒)>

●現在は都立で教鞭を執っております。諸般の事情により中学校までで卒業してしまいましたが、母校として偲ばれるのは獨協です。公立にはない伝統と先生方のあたたかみをこの立場になり実感しております。

＜阿部 惣志（平 15 中学卒）＞

●医師 5 年目として日々頑張っています。

＜村松 孝洋（平 18 卒）＞

●現在薬剤師として、調剤薬局での業務に携わる日々を送っております。

＜森田 隆太郎（平 19 卒）＞

●オランダ系の研修コンテンツ提供会社に転職して 1 年が経ちました。獨協を卒業して 11 年が経ちます。またみんなで会いたいですね。

＜宮島 全（平 19 卒）＞

●獨協中高卒業後、早稲田大学先進理工学部応用化学科に入学、成績ビリで卒業、同大学院に院試トップで入学、その 2 ヶ月後に大学院を退学して大学の仲間と教育 IT 分野で会社を作りました。現在、中だるみ中高一貫校生の定期テスト対策専門塾を都内 15 教室で運営しており、多くの獨協生を指導しています。

＜伊藤 史弥（平 21 卒）＞

●今年 3 月に大学を卒業し、無事区役所に就職し、日々多くの書類の処理に追われています。扱う金額も高く、責任感が伴いかなり大変で、まず業務に慣れることから一生懸命努力しています。

＜高木 礼介（平 26 卒）＞

●大学生生活満喫しています。将来就きたい仕事に向け図書館通いです。獨協時代から初志貫徹です。

＜中町 喜啓（平 27 卒）＞

●この齢になり自らの愚かさに気づき、また第一歩を歩み始めた次第でございます。

＜佐々木 惇（平 27 卒）＞

●早いもので卒業してから 2 年が経過しました。現在医学部の 2 年生として充実した日々を過ごしています。今年 1 月に行われた成人の会では、久しぶりに多くの友人と出会うことができ、獨協で過ごした懐かしい日々を思い出すことができました。今後も同級生との繋がりを大切にしたいと思います。

＜大澤 隆世（平 28 卒）＞

92号(平成31年5月中旬発行予定)へのご投稿をお待ちしています

内 容

1. 「コラムドイツ」… ドイツ語圏での幅広い体験記（仕事・旅行・生活など 1200 字程度・写真可）
2. 「クラス会だより」・「クラブ O B 会」・「職域・地域会」などの報告（300 字程度・写真可）
3. 上記各会の次回開催告知（100 字程度）
4. その他「獨協の思い出」（800 字程度・写真可）「獨協ぶらり旅」（300 字程度・写真可）
「私の近況」（200 字程度・文字のみ写真不可）

締 切 平成 31 年 2 月末日

1. 郵送先 〒112-0014 東京都文京区関口 3-8-1 獨協同窓会 広報 92 号 担当
2. 送信先 info@dokkyo-mejiro.com

お問い合わせ 同窓会事務局（毎週 月・木曜日 13:00～16:30）

TEL 03-3946-6352 担当：木田・鈴木・筒井

ご投稿いただいた文章への加筆・修正・一部削除などをさせていただく場合もあります。

なお、ご投稿文や集合写真などは、獨協同窓会ホームページにも掲載させていただきますので、予めご了承下さい。また、締切日を過ぎたご投稿分等は掲載できない場合もありますので、併せてご了承下さい。

物故者名簿（『独協通信』90号以降） ご冥福をお祈り申し上げます

卒業年	氏 名	物故年月日	昭和 26 年	土屋 隆	2018/3/4	昭和 38 年	吉田 義雄	2017/7/29
			昭和 27 年	大島 彰	2018/5/4	昭和 40 年	澤田 和夫	2017/11/3
昭和 15 年	丸毛 英二	2017/1/27	昭和 27 年	塩田 博	2018/1/28	昭和 40 年	西平 守夫	2017/12/21
昭和 17 年	日向 一郎	2018/4/28	昭和 28 年	塩谷 雄治	2018/4/28	昭和 40 年	牧野 廸夫	2010/
昭和 18 年	伏島 進	2016/5/29	昭和 28 年	村上 正夫	2017/12/23	昭和 40 年	矢幅 貞郎	2016/12/11
昭和 18 年	松井 元司	2016/11/23	昭和 29 年	小成 幸雄	2017/6/30	昭和 44 年	五十嵐 哲	2018/2/21
昭和 19 年	朝生 昇		昭和 30 年	関根 利彦	2018/3	昭和 45 年	天野 孝信	2017/12/7
昭和 20 年	塩澤 正人	2018/3/20	昭和 34 年	赤松 邦彦	2017/10/30	昭和 49 年	田中 洋二	2018/5/2
昭和 20 年	藤村 勲	2017/11/19	昭和 35 年	永井喬一郎	2018/1/1	昭和 49 年	平林 浩明	2016/12
昭和 22 年	田中 孝		昭和 35 年	埴原 護	2018/9/24	昭和 50 年	奥野木伸一	2016/12
昭和 23 年	井上 剛	2018/10/13	昭和 36 年	加藤 雅大	2017/9/24			

90 号でお知らせした田代雄一先生の命日について誤りがありました。誤：平成 30 年 3 月 6 日 正：平成 30 年 3 月 5 日。
訂正してお詫び申し上げます。

SASAKI LAW OFFICE 佐々木綜合法律事務所

東京都千代田区神田須田町1丁目26番 芝信神田ビル10階
TEL 03-3255-0091 FAX 03-3255-0094

相続・不動産・企業法務など
さまざまなお悩みを承っております。



東京弁護士会所属
弁護士 佐々木 広行(昭和61年卒)
〔平成28年度 東京弁護士会副会長〕



医療法人社団

野村会 昭和の杜病院

東京都昭島市宮沢町 522-2

理事長 野村 芳樹 (昭和54年卒)

医療療養型 177床・透析ベッド 30床
入院 (一般内科・透析)・外来透析随時ご相談ください

TEL 042-500-2611 FAX 042-500-2612

～甲状腺を病む方々のために～



伊藤病院

院長 伊藤 公一 (昭和51年卒)

TEL 03-3402-7411 東京都渋谷区神宮前4-3-6 www.ito-hospital.jp



名古屋甲状腺診療所

TEL 052-252-7305
名古屋市中区大須4-14-59
www.kojin-kai.jp/nagoya/

医療法人社団甲仁会
理事長 伊藤 公一



さっぽろ甲状腺診療所

TEL 011-688-6440
札幌市中央区大通西15丁目1-10 ITOメディカルビル札幌5F
www.kojin-kai.jp/sapporo/

協賛広告募集

同窓会では、諸経費の軽減と財務体質改善の一助として、総会でご承認頂いた「独協通信」紙面上の協賛有料スペースへの広告掲載を開始しています。(下段参照) 会員の皆様から、個人名又は法人名での広告掲載を受け付けています。ご希望の方は、同窓会事務局にお問い合わせご相談ください。「広告掲載取扱い規定」により対応いたします。なお、次号掲載は、「独協通信」92号で、平成31年5月中旬発行を予定していますので広告原稿・版下の入稿締切は、3月中旬となります。また、ご参考に、①発行部数約12,000部、年2回、5月・12月発行②掲載料金大枠が4万円、小枠が2万円③通常5月号、12月号各1回のみの掲載ですが、同じ内容で年間2回連続掲載も可能ですのでご相談ください。④広告内容は、「獨協同窓会」のホームページにも掲出されますので、紙面以上の効果も期待できます。

獨協同窓会支部会の立ち上げ

地域別の獨協同窓会支部会(北海道、東北、九州、海外等の単位で)を立ち上げませんか。
ご賛同いただける方は同窓会事務局までご連絡ください。

クラス会・OB会等補助金のお知らせ

同窓会では1開催につき1万円の補助金を助成しております。

- 対象となる会合：クラス会、年度クラス合同会、地域支部会、大学等におけるOB会、クラブOB会、その他(学年を越えたドイツ語クラス会等)。参加人数は5人以上。
- 回数：いずれも年1回まで。
- 申請：開催責任者が事務局に申請する。招待教員による申請は不可。
- 添付書類：案内状等があるときは必ず添付すること。
- 交付：事前に同窓会事務局に連絡すること。
- 報告：補助金交付後30日以内に「独協通信」への原稿を送付すること。写真・当日整理された名簿を添付するのが望ましい。

ご連絡下さい、お待ちしております。

同窓会運営に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

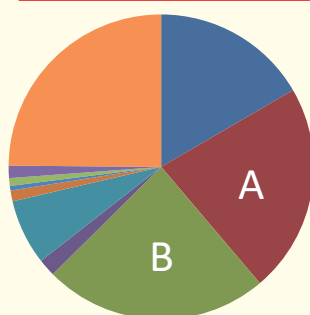
同窓会に於ける最大の支出は、年2回発行する「独協通信の作成(A)」及び「発送費(B)」です(左円グラフ)。

最大の収入は、「入会金(C)」であり、「一般会費(D)」はそれを下回っています(右円グラフ)。このままでは、独協通信の発送について、検討せざるを得ない状況に陥る可能性がございます。

年会費(¥5,000)に、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄附金は随時受け付けています。

2017 支出 11,275 (千円)



2017 収入 15,725 (千円)

